

平成24年3月期決算 力強いV字回復に向けて

ITホールディングス 業績回復に目途

ITホールディングス(以下ITHD)は、5月10日に平成24年3月期の連結決算を発表しました。売上高は3274億円(前期比1.3%増)、営業利益は156億円(同21.9%増)、経常利益は153億円(同21.9%増)と、増収増益を達成しました。当期純利益につきましてはおおよそ78億円の特別損失を計上したため、21億円(同64.3%減)となりました。

また、平成25年3月期の業績予想として、売上高3400億円、営業利益175億円を発表しました。

これに加えて、今年度を初年度とする第2次中期経営計画を発表しました。同計画では、「変革への挑戦―Brave Steps 2014―」をスローガンとして、①トップライン重視 ②as One Company ③進取果敢の3つを基本コンセプトに掲げ、最終年度(平成27年3月期)の売上高3500億円を目指します。

ITHD連結決算と計画

	平成24年3月期実績		平成25年3月期計画	
売上高(百万円)	327,417	1.3%	340,000	3.8%
営業利益(百万円)	15,621	21.9%	17,500	12.0%
経常利益(百万円)	15,393	21.9%	17,000	10.4%
当期純利益(百万円)	2,135	△64.3%	6,000	181.0%

インテック さらなる増収増益を目指して

インテックの連結ベースの決算は、売上高1051億円(前期比2.0%増)、営業利益56億円(同24.6%増)、当期純利益22億円(同17.6%増)と、増収増益を達成しました。平成23年4月に吸収合併した2子会社が売上に貢献するとともに、生産性、品質向上および「営業の絶対量の増加」などの施策が奏功いたしました。

インテックの今期の計画は、連結ベースで、売上高1090億円、営業利益57億円、当期純利益24億円の2期連続の増収増益を目指します。

インテック(連結ベース)決算と計画

	平成24年3月期実績		平成25年3月期計画	
売上高(百万円)	105,189	2.0%	109,000	3.6%
営業利益(百万円)	5,649	24.6%	5,700	0.9%
経常利益(百万円)	5,120	28.9%	5,200	1.6%
当期純利益(百万円)	2,234	17.6%	2,400	7.4%

インテック 社長の金岡がITHD会長に

6月26日開催のITHD定時株主総会にて、インテック会長の中尾は、ITHDの代表取締役会長を退き取締役、社長の金岡がITHDの代表取締役会長に就任しました。

代表取締役 中尾、盛田、滝澤

記者会見

6月22日、新たに就任した代表取締役最高経営責任者の中尾哲雄、代表取締役会長の盛田繁雄、代表取締役社長の滝澤光樹が、富山本社にて記者会見を行いました。

最高経営責任者の中尾は、「インテックは2014年に創立50年を迎える。新たな陣容で再出発したい」と強調。会長の盛田は「仕事を通じてファンを増やし、今まで以上に地域のITニーズを聞き出していきたい」、社長の滝澤は「次の50年につながる大きな役割と認識している。クラウド事業を推進し、基盤を強化したい」と抱負を述べました。

また、中尾は震災後のリスク分散や北陸新幹線の開業を視野に、首都圏で比重が高まっているシステム開発を富山にシフトさせ、高岡市の万葉スクエア、富山市のパワー・アンド・ITなドーターセンター事業に注力し、雇用を創出したいと語りました。



左から 盛田、中尾、滝澤

プラットフォームビジネス事業部

新しい事業領域開拓

2020年ビジョンでユビキタスICTカンパニーを目指すインテックは、新たなチャレンジとして新事業領域の開拓を目的に、プラットフォームビジネス事業部を4月に新設しました。

サービスモデルへの事業転換を全社横串で進めることが第一のミッションで、クラウド基盤をデータセンターに整備し、インテック内やパートナーの業務アプリケーションを移植して、SaaS型サービスの拡充を進めます。

第二のミッションは、BPO事業の再構築と高度化です。クラウド時代にマッチしたBPOサービスを創造し、得意とする企業間サプライチエーン上でのBPOサービスを提供します。

第三のミッションは、スマートフォン、ゲーム機、自動車、家電、産業機器などのデバイスとクラウドをつなぐ新しいサービスの創造です。自社開発した分散並列処理技術を活用した、クラウドプラットフォームを核に、スマートシティやHEMS、スマートITSの分野に取り組みます。全社に散在する新技術や取り組みを組み合わせて、お客さまとともに新しいサービスを生み出していきます。

※HEMS (Home Energy Management System)

50年記念事業準備室を設置

2014年1月11日創立50周年



パンチルーム (1965年)



富山市入船町にあった創業時の社屋 (1964年)

2014年1月11日、インテックは創立50年を迎えます。「株式会社富山計算センター」として1964年に誕生し、17人のメンバーで情報サービス産業という大海原に船出してから半世紀。いまでは3700余名の社員を有し、国内を代表するIT企業のひとつに成長しました。

4月1日には50年記念事業準備室を設置し、創立記念事業の準備を開始しています。50年史の編纂、記念セミナーの開催など、これまで支えてくださった皆さまに感謝の気持ちを込めて、2013年より記念事業を実施してまいります。

インテックの
新体制

インテックは、平成24年6月22日開催の定時株主総会後の取締役会において、次のとおり新体制を決定しました。会長に盛田繁雄(代表取締役副社長)、社長に滝澤光樹(取締役副社長)がそれぞれ就任しました。中尾哲雄(代表取締役会長)は、代表取締役最高経営責任者(CEO)として、インテックおよびそのグループ会社全体を指導していきます。

創立50年に向け本年4月に始動した中期経営計画「New INTEC Dream」の達成を目指し、新体制で邁進します。

役員



中尾 哲雄
代表取締役
最高経営責任者



盛田 繁雄
代表取締役会長



滝澤 光樹
代表取締役社長
技術本部長



鈴木 良之
専務取締役
情報セキュリティ・個人情報保護
経営管理部
情報システム部
事業推進本部
東京業務部担当



川原 賢一
専務取締役
西日本地区本部長



平野 尚也
専務取締役
海外事業部
コンサルティング事業部
SI事業部担当
首都圏本部長



日下 茂樹
常務取締役
公共ソリューション事業本部
NSG事業部担当
ビジネスソリューション事業本部長



石井 貞行
常務取締役
プラットフォームビジネス事業部
金融ソリューションプロダクト事業本部
BPO事業部担当
ネットワーク&アウトソーシング事業本部長

取締役相談役

金岡 克己 (ITホールディングス株式会社 代表取締役会長)

取締役

上野 唯泰 人事部長

根岸 幸博 行政システム事業本部長

富加見 順 ネットワーク&アウトソーシング事業本部副本部長
(株式会社ネクスウェイ 代表取締役社長)

寺西 正樹 グループ経営管理部 アライアンス企画部担当 財務部長

白津 昌之 中部地区本部長

常勤監査役

川田 章

川浦 正博

執行役員

中川 潔 総務部長

安川 竜男 第二金融ソリューション事業本部長

佐野 洋 事業推進本部長 営業推進室長

河崎 哲男 先端技術研究所長

林 弘明 第一金融ソリューション事業本部長

日浦 清次 SI事業本部長 システムアーキテクト部長

今里 直人 プラットフォームビジネス事業部長
金融ソリューションプロダクト事業本部長

倉田 亨 首都圏本部副本部長 製造事業部長

高瀬 幸忠 北陸地区本部長

新海 章 NSG事業部長

品川 宜永 (株式会社アット東京 常務取締役)

今井 喜義 (株式会社チューリップテレビ 常務取締役)

●新社長の滝澤光樹は当社創業来、6人目の社長となります。

	就任期間	氏名
初代	1964.1.11~1970.11.18	西 泰 蔵
2代	1970.11.18~1993.7.30	金 岡 幸 二
3代	1993.8.9~2005.3.31	中 尾 哲 雄
4代	2005.4.1~2007.3.31	宮 地 秀 明
5代	2007.4.1~2012.6.22	金 岡 克 己
6代	2012.6.22~	滝 澤 光 樹

滝澤 光樹(たきざわ こうじゅ)

生年月日 昭和26年3月29日生

主要略歴 昭和48年4月 株式会社インテック入社
平成11年6月 同社取締役 企画担当 企画室長
平成13年6月 同社常務取締役 社長室長
平成19年6月 同社取締役副社長 事業企画・IR担当
平成20年4月 ITホールディングス株式会社 取締役副社長
平成23年4月 株式会社インテック 取締役副社長
公共ソリューション事業本部担当
金融ソリューションプロダクト事業本部担当
BPO事業本部長
平成24年6月 同社代表取締役社長